

中央図書館の児童館連携作業報告

1. 目的 長久手市子ども読書活動推進計画に基づき、図書の利用促進のための協力を行う。
2. 対象児童館 市が洞児童館
3. 作業日 平成 26 年 7 月 17 日（中央図書館職員 4 名：二之部、水野、岡田、井戸）
4. 作業前所見 市が洞児童館は平成 26 年 4 月 1 日に開所した。1 階に図書室があり、児童館所蔵の本を並べて置いている。今回、この図書室に配架する図書の団体貸出を行う。
5. 作業内容
 - ① 図書の搬入

下山児童館から返却された図書 120 冊に加え、新たに選書した 380 冊の合計 500 冊を団体貸出し、搬入した。貸出期間は平成 26 年 7 月から 2 年間の予定。

選書については、中央図書館で利用頻度の高い本と、図書館が推薦するロングセラー本を組み合わせたものとした。児童館を利用する人数の多い小学校低学年向け、及び保育園が隣接していることを考慮し絵本を中心とした。

また図書の配架のため、ブックエンド類も合わせて貸出した。
 - ② 図書の配架

手前左側の棚から右側に向かって時計回りに、乳児・幼児、小学校低学年、それ以上の年齢という順序で本を配架した（写真 1）。児童館所蔵の本は、右側の棚に一か所にまとめて並べた（写真 2）。

本の分類は、主に図書分類の大分類を基準として本を分け、児童館職員及び児童が分かりやすい配置にした。

棚には見出しをつけ、どの年齢を対象とした本が並んでいるかを示すようにした（写真 3）。

本はスペースが許すかぎり面出し（表紙側を出して並べる方法）にし、文字がまだ読めない子供でも、絵を見て本が選べるように並べた（写真 4）。

棚の上には、枠を取り付け、図書館が特に推薦する本を面出しで並べ、本の紹介コーナーのようにして展示をした（写真 5）。
 - ③ レイアウト調整

家具については、手前には背の低い家具を置き、背の高い家具は奥に配置した。

図書室の入口に柱があるため、利用動線を考慮し、柱の位置に合わせて家具を縦一列に並べるようにした（写真 6）。

また、手前右側の棚は、荷物置きとして使えるよう 3 列をロッカーの代わりとして確保した（児童館職員からの要望、写真 7）。

6. 貸出資料点数

単位：冊

	下山児童館 返却図書	絵本 (※)	知識絵本	小型絵本	大型絵本	赤ラベル	幼年童話	合計
冊数	120	75	50	65	10	80	100	500

※75 冊のうち昔話絵本 25 冊

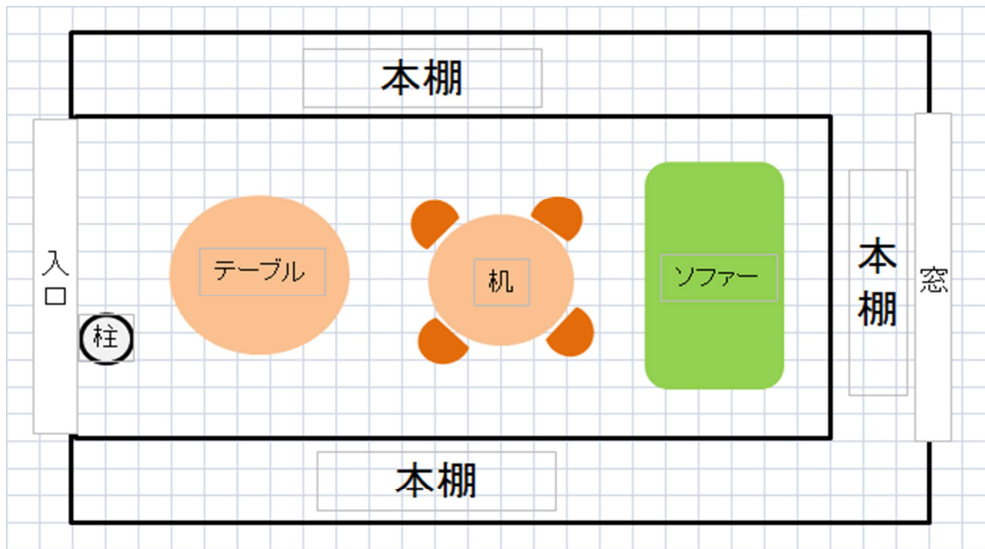
7. 協力体制 児童館所蔵の資料については、中央図書館の図書と区別するため、背にラベルを貼る作業を児童館職員が行った。

8. 課題 団体貸出をした図書は、まだ児童館から館外貸出する体制が整っていない。(子育て支援課へ貸出提案済み)

【作業前写真】



【配置図】



【作業後写真】中央図書館からの団体貸出図書500冊配架後
〈全体〉



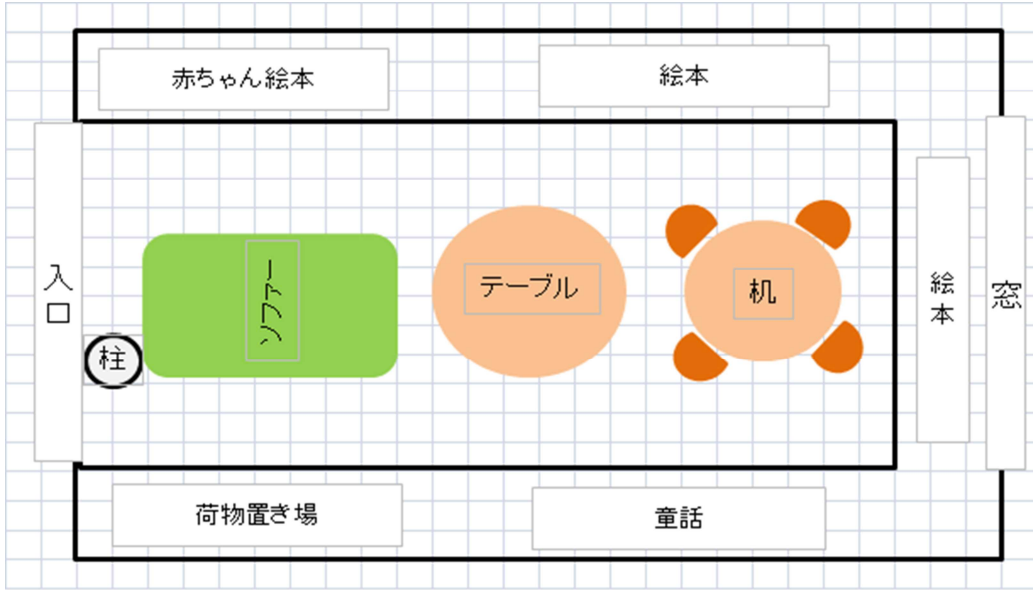
〈棚の見出し〉



〈棚上の展示、POP等〉



【配置図】

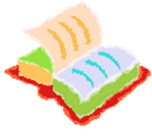


展示ポスター

中央図書館(ちゅう
おうとしょかん)から
ほんをもってきました！

-かりてください-

※長久手市子ども読書活動推進計画
の児童館連携事業より
(H25 年度から始まりました)



長久手市中央図書館

展示 POP①

中央図書館 (ちゅうおうとしょかん) からのおすすめ本

おすすめのほんをちゅうおうとしょかんからもってきました。かりてください！

ちいさなえほん



「ポリボン」マレーク・ペロニカ/文・絵 福音館書店
ガビはいたずらっ子。なんでもこわしてしまうのです。ある日おかあさんがガビにくまのぬいぐるみのポリボンをくれました。やっぱりこわしてしまったガビが少し目をはなしたときにポリボンはいなくなってしまいました。ポリボンはいったいどこへ？

「さつまのおいも」中川ひろたか/文 童心社

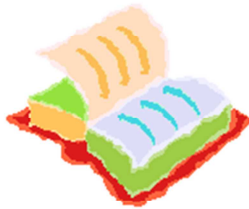
おいもはつちのなかでくらししています。こはんもたべると おふるもはいらいます。みんなでトレーニングもします。強くなったおいもは毎年こどもたちとつなひきをします。さあ、どちらがかつとおもいますか。

展示 POP②

「み」トミー・アンガラ

一/さく 隆成社

黒マントに黒ぼうしの三にんぐみのどろぼうはたくさんの宝物をもっていました。ある日さうってきた女の子に宝物のつかいみちを聞かれ三にんぐみのどろぼうは相談しました。どろぼうたちが思いついたすてきなつかいみちって？



たのしいおはなしがいっぱい！



「そらまめくんのベッド」なかや みわ / さく・え 福音館書店

そらまめくんはすてきなベッドをもっていました。どんな子が「寝させてよ」といっても「だめだめ」とことわります。けれどある日そらまめくんのベッドがなくなってしまいます。ベッドはいったいどこへ？そしてそらまめくんはどうするのでしょうか？

調べてみよう 読んでみよう



「新幹線のたび」コマヤスカン/作 講談社

新幹線に乗ったことはありますか？はるかには青森からおいしいちゃんの家がある九川までお父さんと新幹線で行くことになりました。はるかとお父さんの旅を大パノラマ絵本と一緒に体験しましょう。